

## Radio Ĉerizo Eduka.

ラディーオ・チェリーゾ・エドゥーカ、さくら教育放送です。国際語・民際語エスペラントを学びましょう。では、第1回、挨拶を覚えましょう。

Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!

Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!

saluton はもともと「挨拶を」ということです。つまり「こんにちは」ですが、時間にとらわれずいつでも使えます。saluton の lu は日本語の「ル」でもまあいいですが、舌の先を上歯の裏につけて、lu lu lu とすればきれいになります。唇を前に突き出して lu lu lu といいましょう。

amiko は「友達」です。呼びかけています。でも日本語では普通「こんにちは、友達よ」なんて言い方はしませんね。ただ「こんにちは」ですが、エスペラントではよくこんな言い方をします。

では、練習です。  
Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!  
Saluton, amiko!

二つ目は

Saluton, sinjoro!  
です。sinjoro は「紳士」とか「だんな」ですが、日本語ではこんな呼びかけもしません。まあ男の人に向かっていう言い方だと思ってください。ro は日本語のロでもまあいいですが、rro と舌先を震わせるのがきれいに聞こえます。

では、練習です。  
Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!  
Saluton, sinjoro!

ね、発音しやすいでしょう？

エスペラントでは母音が a, i, u, e, o しかなく、日本語のようにはっきり言います。また、名詞は必ず o で終わります。

salut/o	挨拶
amik/o	友達
sinjor/o	紳士

全部 o で終わっていますね。このようにエスペラントは最後の母音が大事な役割を果たしますので、はっきりと話しましょう。

じゃあ「saluton」の「n」は何か、って？これはね、「何々を」という目的をあらわすときに o のあとにくっつけるんです。salut/o が「挨拶」、salut/o/n が「挨拶を」となるわけですね。amik/o を amik/o/n とすると「友達を」となるし、sinjor/o/n なら「紳士を」となるわけです。これは規則的で例外はありません。

Saluton, sinjoro!  
Saluton, amiko!

Saluton, sinjoro!  
Saluton, amiko!

今日はこれでおしまい。別れのことばは Ĝis! です。

ではまた次回。さよなら。  
Ĝis!  
Ĝis!

-----

La unuan lecionon elsendis Radio Ĉerizo Eduka, en la japana lingvo.